

上部消化管内視鏡検査 のご案内

▲ 上部消化管内視鏡検査

口から内視鏡を挿入し、食道・胃・十二指腸を観察する検査です。食道がん、逆流性食道炎、胃がん、胃ポリープ、胃潰瘍、胃炎、十二指腸潰瘍などの病気を発見することができます。

**早期
発見**が重要です



正常画像

▲ 検査前の処置について

胃の中の泡を消す薬を飲んだ後、喉に麻酔をし、検査していきます。

検査の苦しさを和らげるために

意識下鎮静法を行っています。少量の鎮静剤を使用し、ぼんやりしながらも、受け答えができ、内視鏡の苦しさを軽減します。



CENTRAL HOSPITAL